

## 国上より渡部への古道

国上寺西参道近くの溜池から渡部へ向かう稗面坂の山道は、大河津分水完成前の国上・渡部をつなぐ道であった。この道を通して良寛と阿部定珍・原田鵠齋らとの交遊が行われていたものと伝えられている。

良寛は定珍に次の歌を贈っている。

月よみのひかりを待ちて帰りませ山路は栗のいがのおつれば